



岡山産業保健総合支援センター

《おかやまさんぽメールマガジン》 第85号 2015年3月2日(月)



I N D E X

1 相談員便り

『現在の健康』と『将来の健康』 中村武博相談員

2 センターからのお知らせ(相談・研修・行事案内)

*平成26年度産業保健研修会【平成27年3月12日(木) 13:30~16:40】

*平成26年度研修会のご案内

3 編集後記

1 相談員便り

『現在の健康』と『将来の健康』 中村武博相談員

“健康”の定義として我々がすぐに思い浮かべるのは「**Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity.** (健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること。)」というWHOの定義で、これは『現在の健康』について述べられています。

でも、予防医学での“健康”には『将来の健康』という意味合いもあるようです。

少し古い話題になりますが、昨年4月に人間ドック学会が血圧やコレステロールに関する新しい基準値を公表した際に、従来の基準値より緩和されたものが多かったため、一部新聞や雑誌では「健康な人が増える！」などの見出しで健康診断の判定基準が変更されるかのように報道されました。

人間ドック学会が公表した「健康人の基準範囲」とは、150万人という

大規模な集団から抽出された、他の一般的な検査に異常がなく、飲酒はビール相当1本以下、喫煙もしない健常者（＝健康人）の検査値を元に血圧などの基準範囲を算出したもので、あくまでも調査時点で“健康”な人の基準値です。

一方、健康診断の判定基準は一時点での“健康”ではなく、将来も“健康”でいられるかどうか（予防医学的閾値）も考慮します。

- ・健康な人の基準値 ＝ その時点で健康であるかどうか（一時点での調査で算出可能）
- ・健康診断の基準値 ＝ 将来も健康でいられるかどうか（一定期間の追跡調査が必要）

したがって、この調査結果ですぐに健康診断の基準値が変更されることはありません。

早合点した（意図的に拡大解釈した？）報道の問題が大きいとは思いますが、「健康人の基準範囲」という誤解されやすい用語を用いてしまった人間ドック学会にも責任の一端はありそうです。

この基準値問題を通して、“健康”という言葉を使う時には時間的概念も考慮しなければいけないということが分かりました。産業保健の場で“健康”と言う時は、『将来の健康』も意識していることが多いと思いますが、それを聞く社員は『現在の健康』だけを考えているかもしれません。

皆さんの職場で“健康”という言葉を使った時、社員の方々は『将来の健康』にまで思いを巡らせているのでしょうか？！

2 センターからのお知らせ（研修）

■平成26年度産業保健研修会のご案内■

日 時：平成27年3月12日（木）13：30～16：40

場 所：津山圏域雇用労働センター 大ホール 北側

（岡山県津山市山下92-1）

対 象：産業医、産業看護職、衛生管理者、人事労務担当者

単 位：認定産業医生涯研修（更新1単位、実地1.5単位）

内 容：

- メンタルヘルス対応 グループワークによる難渋事例の検討
- 労働安全衛生法等の改正について

講 師：

岡山産業保健総合支援センター相談員 高尾総司
岡山労働局労働基準部健康安全課長 高祖明己

定 員：50名

備 考：受講料は無料です。

.....
・・・こちらの研修会のお申込はこちら

<http://www.okayama-sanpo.jp/form-01/form-01.html>

■ 産業保健研修会（会場：岡山労災病院）のご案内 ■

実際に産業保健現場で実務を行う機会のある方を支援するための事例検討を中心とした『アドバンストコース』として実施します。職種は問いません。産業医の生涯研修単位を取得できます。

初めて受講される方には総論内容をまとめたDVDの視聴を推奨します。

（DVD入手は、<http://www.unit-gp.jp/eisei/wp/?p=1809>）

※DVD入手の際に必要な『キーワード』は、研修会申込時にお知らせします。

受 講 料：3,000円

（資料代としてNPO法人が管理します。受付時にお支払い下さい。）

定 員：20名

◆平成27年3月19日（木） 19：00～21：00

演 題：メンタルヘルス対応 やってはいけないこと
グループワークによる事例検討

講 師：

高尾総司（岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師）
岸本卓巳（岡山労災病院 副院長）
岩瀬敏秀（岡山大学大学院 地域医療支援センター 助教）

場 所：岡山労災病院別館3階会議室

単 位：生涯専門1単位、生涯実地1単位

.....

・・・産業保健研修会の詳細は、こちらでご確認ください。

<http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke.html>

■ 岡山産業保健総合支援センター主催セミナー・研修会 ■

⇒⇒⇒ 会場が「岡山大学鹿田キャンパス」の研修会

※下記研修会の会場は「岡山大学鹿田キャンパス」

医学部基礎研究棟 1 階小セミナー室（岡山市北区鹿田町 2 丁目 5 番 1 号）

※受講料無料。駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しください。

※シリーズとなっていますが、各研修会単独で受講できます。

※産業保健研修会（岡山労災病院）の講師を務める高尾総司先生の研修会です。「職場は働く場所」の大原則を前提に、メンタルヘルス対策等を考えます。

日 時：3/9（月）14：00～15：30

研修テーマ：健康診断事後措置シリーズ 2

内 容：各論 2 福利厚生としての実施

産業医研修会・セミナーのお申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke.html>

▼研修会の受付は各研修会会場で行います。直接、お越し下さい。

▼今後、研修会開催場所に関しては変更になる可能性があります。変更になった場合は、速やかに御連絡いたします。

▼お問合せは、下記アドレス宛にお送りください。

E-mail : info@okayama-sanpo.jp

3 編集後記

1月9日に岡山労働局は「岡山労働局働き方改革推進本部」を設置しました。

所定外労働時間の削減、年次有給休暇取得促進を始めとする働き方改革の実現に向けた取組をさらに強化するとともに効果的に情報発信を行うこととしました。皆さんの職場では長時間労働対策をしていますか？これを機にもう一度職員全員で考え、対策がさらに強化されるよう

願います。

次回の第 86 号は 4 月 1 日（水）の配信予定です。